

令和2年三重県議会定例会
予算決算常任委員会 戦略企画雇用経済分科会 説明資料
目次

◎所管事項

- 1 令和3年度当初予算要求状況（戦略企画部）について 1

令和2年12月17日

戦略企画部

◎所管事項

1 令和3年度当初予算要求状況(戦略企画部)について

(1) 施策別要求額一覧

(単位: 千円)

主担当部局	施策番号	施策・行政運営名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 当初予算 要求額	増減額
戦略企画部	226	地域の未来と若者の活躍に向けた高等教育機関の充実	29,589	61,484	31,895
	行運1	「みえ県民力ビジョン」の推進	221,139	74,831	△146,308
	行運5	広聴広報の充実	1,238,336	503,679	△734,657
	—	人件費	971,236	998,443	27,207
	—	その他(交際費)	381	381	—
戦略企画部合計			2,460,681	1,638,818	△821,863
環境生活部	行運1	「みえ県民力ビジョン」の推進	85,399	84,300	△1,099
合計			2,546,080	1,723,118	△822,962

(2) 令和3年度要求額と令和2年度当初予算額との主な増減要因

(単位: 千円)

事業名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 当初予算 要求額	増減額
【増額の主なもの】			
(行運5) 経済センサス — 活動調査費	8,666	103,782	95,116
(施策226) 高等教育機関連携推進事業費	838	37,832	36,994
【減額の主なもの】			
(行運5) 国勢調査費	824,858	484	△824,374
(行運1) 番号制度等整備関係諸費	153,002	15,172	△137,830

(3) 「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」取組概要

施策226

地域の未来と若者の活躍に向けた高等教育機関の充実

【主担当部局：戦略企画部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

県内の高等教育機関における教育や研究等の充実により、一層魅力が高まるとともに、学びの選択肢の拡大により、三重県で学び、働き、住み活躍する若者が増えています。

また、県内高等教育機関と産業界等地域との連携が進み、共同研究や地域の課題解決に向けた取組が活発化し、若者から選ばれるしごとの創出や働く場の魅力向上が実現しています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県内高等教育機関入学者の県内からの入学者の割合（県内入学率）		60.0%		61.0%		63.0%
	55.5%					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県内高等教育機関に入学した者のうち、県内からの入学者の割合（県内入学率）					
3年度目標値の考え方	平成30年度実績値（平成31年4月入学）の58.1%から、毎年1%ずつ増加させることをめざし、令和3年度の目標値（令和4年4月入学）を61.0%としました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県内高等教育機関卒業生の県内就職者の割合（県内就職率）		51.0%		52.0%		54.0%
	48.2%					
県内高等教育機関と取り組む産学官連携の件数（累計）		40件		85件		190件
	—					

現状と課題

- ① 平成 28 年に県内の高等教育機関と県で構成する「高等教育コンソーシアムみえ」を創設し、高等教育機関の魅力向上につながる取組を進めているものの、県内高等学校から県内高等教育機関への進学者数は増加しておらず、県内高等教育機関のより一層の魅力向上およびその魅力を学生等に伝えていくことが求められています。
- ② 令和元年度の本県の大学収容力指数^{注)1}は、48.2 と他府県と比べて低く、県内の高等学校を卒業した大学進学者が県内大学へ入学した割合も約 2 割に留まっており、大学収容力の向上や学びの選択肢の拡大が求められています。
- ③ 県内高等教育機関の卒業生が県内企業に就職した割合は 5 割に満たないことから、就職時の若者の県内定着が課題となっています。
- ④ 大学生等の奨学金返還額の一部を助成する制度については、これまでの過疎地域などの指定地域への居住等を条件とする「指定地域枠」に加え、新たに県内での居住及び県内産業への就業等を条件とする「業種指定枠」を設け、募集人数を 40 名に倍増し、募集を開始しています。若者の県内定着が進むよう、制度を適切に運用していくことが必要です。
- ⑤ 平成 30 年に県内の産業界、高等教育機関、県および市町で構成する「みえ地方創生多分野産学官連携推進協議会」を創設し、産学官による連携に取り組んでいます。地域での若者の活躍につなげるためには、共同研究などの推進による若者から選ばれるしごとの創出や働く場の魅力向上が必要です。

注) 1 大学収容力指数：県内外からの県内大学への入学者数／前年度に県内高等学校を卒業した者のうち国内大学への入学者数×100。

令和 3 年度 of 取組方向

- ① 三重で学び、働き、住み活躍する若者を増やすため、「高等教育コンソーシアムみえ」における県内高等教育機関相互の連携取組や県内高等教育機関と県外大学との連携による研究・人材育成の促進などを通じて、選ばれる高等教育機関としての一層の魅力向上を図ります。
- ② 若者が県内で学び、成長できる可能性を広げられるよう、大学進学時における学びの選択肢の拡大に向けて、県立大学設置の是非について検討します。
- ③ 県内入学者や県内就職者の増加につなげるため、県内高等教育機関が、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う環境変化をふまえて講じる、学びの充実を図るための取組を重点的に支援します。
- ④ 大学生等の奨学金返還額の一部を助成する制度について、より多くの若者が県内で暮らし、働くきっかけとなるよう、関係機関と連携して周知を図るとともに、適切かつ効果的に運用をしていきます。
- ⑤ 若者から選ばれるしごとの創出や働く場の魅力向上につながるよう、県内高等教育機関相互や産学官のネットワークを活用して、分野の枠を越えて連携した取組を推進します。

主な事業

① (一部新) 高等教育機関連携推進事業【基本事業名：22601 県内高等教育機関の魅力向上・充実】

【基本事業名：22602 県内高等教育機関と取り組む産学官連携の推進】

予算額：(R2) 838千円 → (R3) 37,832千円

事業概要：三重で学び、働き、住み活躍する若者を増やすため、「高等教育コンソーシアムみえ」において、地域課題に対して深く関心を持ち、主体的に活躍する人材「三重創生ファンタジスタ」の養成などの取組を進め、県内高等教育機関の一層の魅力向上を図ります。若者が県内で学び、成長できる可能性を広げられるよう、大学進学時における学びの選択肢の拡大に向けて、県内高校生等の高等教育におけるニーズを調査するとともに、県立大学設置の是非について検討します。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う環境変化をふまえた、県内入学者や県内就職者の増加につなげる県内高等教育機関の取組に対し、財政的に支援します。

② 地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業

【基本事業名：22601 県内高等教育機関の魅力向上・充実】

予算額：(R2) 28,751千円 → (R3) 23,652千円

事業概要：若者の県内への定着を促進するため、「過疎地域など指定地域への居住」や「県内での居住及び県内産業への就業」を予定している学生を対象に、奨学金返還額の一部を助成します。

【主担当部局：戦略企画部】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

第三次行動計画に基づく施策を通じて、「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりを県民の皆さんとの協創により進めることで、三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会が実現し、取組の成果が県民の皆さんに届き、幸福実感が高まっています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
各施策の「主指標」の達成割合		70.0%		70.0%		70.0%
	51.7%					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「主指標」の目標値を達成した施策が全施策に占める割合					
3年度目標値の考え方	第二次行動計画において「主指標」に相当する「県民指標」の達成割合（51.7%）および目標数値をふまえつつ、県民の皆さんに成果を届けることを県政運営の基本姿勢に掲げていることや、「主指標」は、県がさまざまな主体との協創の取組によって得られる成果をあらわす指標であることから、70%が妥当であると考え、目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
各施策の「副指標」の達成割合		80.0%		80.0%		80.0%
	57.1%					
広域的な課題解決に向けた新たな連携取組数（累計）		10件		20件		40件
	—					
地域活動を行っている県民の割合		23.5%		24.5%		26.5%
	19.8%					

現状と課題

- ① 新型コロナウイルス感染症に伴う甚大な影響が長期化する中、感染症の収束と経済の両立を図り、「新たな日常」を創造していく必要があります。新型コロナウイルス感染症による危機を克服し、各施策や事業の成果を県民の皆さんに届けられるよう、新たな課題への対応も含め、第三次行動計画に基づく各施策の取組を再加速させていく必要があります。

- ② 「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）に基づき、多岐にわたる分野の取組を有機的かつ効果的に結びつけ、相乗効果が発揮されるよう、第三次行動計画と一体的にあらゆる施策を総動員して、「量」だけでなく「質」も重視した取組を進めていく必要があります。
- ③ 地方創生の原動力となるSDGs（持続可能な開発目標）の取組を進めるため、「若者と創るみえの未来」をテーマに、三重県らしい持続可能な社会の実現に向け、経済・社会・環境の3つの側面から取組を進めるとともに、それらを統合する、若者の参画を得た脱炭素社会の実現に向けた取組を国へ提案し、「SDGs未来都市」として選定されました。また、企業や地域の団体、行政など多様なステークホルダーとの効果的なパートナーシップの活性化をめざし、「SDGs推進窓口」を開設しました。今後も、県内におけるSDGsに資する取組の活性化を図る必要があります。
- ④ 県民の皆さんの幸福実感を把握し、今後の県政運営や各種計画の策定に活用するため、「みえ県民意識調査」を実施しています。引き続き、県政運営の方向性を決定する参考となるよう、「みえ県民意識調査」の調査内容・方法を検証、検討していく必要があります。
- ⑤ 県境を越えて取り組むべき課題の解決に向けて、他の自治体等と連携し、各種取組を進めてきました。引き続き、全国知事会はもとより、共通の課題を有する自治体等と連携し、県単独では解決することが難しい課題に効果的・効率的に取り組んでいく必要があります。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症が拡大等する中、NPO（市民活動団体、ボランティア団体等を含む）が組織を維持し、活動を再開・継続できるよう取組を進めてきました。引き続き、公益的活動を行うNPOやこれを支援する中間支援団体が、新しい生活様式に即して、さまざまな主体との協創を図りながら、多様化、複雑化する地域の諸課題に対応していけるよう支援する必要があります。

令和3年度の取組方向

戦略企画部

- ① 新型コロナウイルス感染症の拡大による社会変容がもたらした「新たな日常」を見据え、感染症の収束と経済の両立を図り、三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会の実現をめざしていくため、総合戦略の基本目標等を含む各施策の目標の達成に向けて、「みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）」に位置づける政策協議等を通じて、各部局に対し必要な支援や助言を行うなど、Society 5.0およびSDGsの視点を取り入れ、的確な進行管理を行っていきます。
- ② SDGsに係る情報発信や普及啓発を行うとともに、「SDGs未来都市」として、関係部局と連携しながら、若者の参画も得て脱炭素社会の実現に向けて取り組めます。また、SDGsの視点に基づき、企業や地域の団体、行政など多様なステークホルダーと連携して持続可能な社会づくりを進められるよう取り組めます。
- ③ 「みえ県民意識調査」については、今後の県政運営に活用するため、これまでの調査結果等をふまえ、第11回調査を実施します。
- ④ 令和2年度に改訂した「三重県国土強靱化地域計画」の推進に向けて、「みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）」に基づき的確な進行管理を行うとともに、県内市町における国土強靱化地域計画の改訂等に向けた支援を行っていきます。
- ⑤ 国が主導するマイナンバー制度が円滑に運用されるよう、関係部局と連携し、個人情報保護等に配慮しつつ、的確に対応していきます。
- ⑥ 戦争の悲惨な実態と教訓が風化することのないよう、未来を担う若い世代をはじめとする多くの県民の皆さんに、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝える機会づくりに取り組んでいきます。
- ⑦ 「三重県総合教育会議」の開催等を通じ、各部局の人づくりにかかる施策の総合調整を行い、「三重県教育施策大綱」に掲げる基本方針をふまえ、教育・人づくり政策の計画的な推進を図ります。

- ⑧ 県境を越えて取り組むべき共通の課題や広域的な課題に関し、知事と他の自治体等の長が調査・研究や提言・提案、連携事業等の実施について協議する場を設けることによって、各部局の施策推進に必要な他の自治体等と連携した取組を進めます。

環境生活部

- ⑨ 県民一人ひとりが自らを社会の担い手として認識し、NPO活動への理解、参画が促進され、新しい生活様式に即して、さまざまな主体との協創による地域課題の解決に向けた取組が進むよう、「みえ県民交流センター」を拠点とした情報発信、NPOや中間支援組織の基盤・機能強化に取り組めます。

主な事業

戦略企画部

- ① 行動計画進行管理事業【基本事業名：40101 「みえ県民カビジョン」の進行管理】
予算額：(R2) 7,713千円 → (R3) 4,017千円
事業概要：新型コロナウイルス感染症の収束と経済の両立を図り、政策協議等を通じて、第三次行動計画の着実な進行管理を行います。また、「三重県地方創生会議」並びに同検証部会及び同SDGs部会を開催し、第三次行動計画と一体化した第2期総合戦略の取組の成果や課題の検証を行い、改善を図るとともに、SDGsに資する取組の県内における活性化を図ります。
- ② 計画推進諸費【基本事業名：40101 「みえ県民カビジョン」の進行管理】
予算額：(R2) 4,081千円 → (R3) 6,708千円
事業概要：県民の皆さんの幸福実感の推移等を把握し、県政の運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を行います。
- ③ 番号制度等整備関係諸費【基本事業名：40101 「みえ県民カビジョン」の進行管理】
予算額：(R2) 153,002千円 → (R3) 15,172千円
事業概要：マイナンバー制度が円滑に運用されるよう、個人情報保護等に配慮しつつ、関係部局と連携した制度への的確な対応等を行います。
- ④ 未来につなぐ平和発信事業【基本事業名：40101 「みえ県民カビジョン」の進行管理】
予算額：(R2) 870千円 → (R3) 785千円
事業概要：被爆地広島との交流や被爆・戦争関係資料の展示などを通じて、未来を担う若い世代をはじめとする多くの県民の皆さんに平和の尊さを伝えていく機会を設けます。
- ⑤ 人づくり政策推進費【基本事業名：40101 「みえ県民カビジョン」の進行管理】
予算額：(R2) 129千円 → (R3) 122千円
事業概要：知事と教育委員会が協議する「三重県総合教育会議」を開催し、教育・人づくり政策を推進します。

⑥ 広域連携推進費【基本事業名：40102 広域連携の推進】

予 算 額：(R2) 13, 224千円 → (R3) 12, 186千円

事業概要：全国知事会等に参画し、広域的課題解決に向け、他の自治体等と連携した新たな取組を開始します。

⑦ 中部圏・近畿圏連携強化費【基本事業名：40102 広域連携の推進】

予 算 額：(R2) 2, 928千円 → (R3) 2, 891千円

事業概要：中部圏・近畿圏の知事会等に参画し、広域的課題解決に向け、他の自治体等と連携した新たな取組を開始します。

環境生活部

⑧ NPO活動支援推進事業【基本事業名：40103 県民の社会参画の促進】

予 算 額：(R2) 5, 622千円 → (R3) 10, 728千円

事業概要：NPO法に基づく認証・認定事務、設立手続きや会計実務等に係る周知・相談・助言に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたNPOを支援するための相談窓口の設置等を実施します。

⑨ みえ県民交流センター指定管理事業【基本事業名：40103 県民の社会参画の促進】

予 算 額：(R2) 31, 104千円 → (R3) 31, 338千円

事業概要：市民活動・NPOに関する情報発信、NPOや中間支援組織の基盤・機能強化に資する講座の開催、「みえ県民交流センター」の適切な管理・運営を実施します。

【主担当部局：戦略企画部】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

県民の皆さんの行動につながる県政情報が発信され、県政に対する意見や評価が適切に把握されるなど、充実した広聴広報活動が行われています。これにより、県民の皆さんの県に対する理解や共感、信頼が深まり、県政への積極的な参画や提案など、協創の三重づくりが進み、県民の皆さんとの接点の拡大と充実が図られています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県からの情報が伝わっていると感じる県民の割合		35.0%		40.0%		50.0%
	28.9%					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「みえ県民意識調査」で、県の広報活動により県の情報が伝わっていると「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した県民の割合					
3年度目標値の考え方	得たいと思う県情報が得られていると感じる県民の割合 28.6%（平成30年度実績）を参考に、毎年度5%ずつ増加を図り、5年度には県民の皆さんの2人に1人が実感していることをめざすものであり、3年度の目標値を40.0%としています。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県が行っている広聴広報活動の実施件数		6,150件		6,300件		6,600件
	6,445件					
県広報プロモーションのファン数		62,500人		65,000人		70,000人
	56,199人					
公文書や個人情報の開示決定等における開示・非開示判断の適正度		0.5%以下		0.5%以下		0.5%以下
	0.27%					

現状と課題

- ① ICT(情報通信技術)の普及拡大による広報媒体・コミュニケーション構造の多様化や、激化する地域間競争に対応していくため、令和元年度に改訂した「三重県広聴広報アクションプラン」に基づき、戦略的・計画的な広報活動および政策形成につながる広聴活動の実現に取り組む必要があります。
- ② 新型コロナウイルス感染症に関する県の施策や感染状況などの情報を県民の皆さんに的確に届け、安全・安心な暮らしを実現するためには、県ホームページをはじめ、各広報媒体を効果的に組み合わせた情報発信を行うとともに「伝わりやすさ」を意識した質の高い「拡散性の高いコンテンツづくり」に取り組む必要があります。また、情報を迅速に発信するためにAIによる会議録作成システムなどのさらなる活用を図る必要があります。
- ③ 県政に対する幅広い「県民の声」を集約して県政に反映していくためには、県民の皆さんからの声に誠実に答え、改善を図るとともに、提言、意見などを求めていくことが必要です。
- ④ 県民の皆さんや、企業、団体等のさまざまな活動に生かせるよう、基礎資料となる各種統計情報を積極的かつ正確に、わかりやすく提供することが必要です。
- ⑤ 県民の皆さんの参加による公正な県政を推進していくためには、行政情報を積極的に公開し、情報公開制度を適正に運用していくとともに、保有する個人情報も適正に管理していくことが必要です。

令和3年度の取組方向

- ① 広聴広報会議等で各種広聴広報ツールの周知や部局間の情報の共有を図るとともに、パブリシティ活動の質の向上に向けて職員研修を実施することで情報発信力や広聴機能の強化を行い、全庁が一体となった戦略的・計画的な広聴広報活動を展開します。
- ② 新型コロナウイルス感染症に関する県の施策や感染状況をはじめ、県政に関する重要な情報を県民の皆さんに的確に届けるとともに、より情報を身近に感じていただけるよう、県ホームページや県広報紙、テレビ、ラジオ、新聞、SNSなどのさまざまな広報媒体を効果的に活用した情報発信、パブリシティ活動に取り組みます。また、AIを活用したシステムや文章校正ソフトなどにより、文章の適正化を図り、迅速かつ正確な情報発信を行います。
- ③ 「拡散性の高い情報コンテンツづくり」の視点で、県プロモーションサイト「つづきは三重で」での情報発信を行うとともに、首都圏等におけるマスメディアを活用した県の魅力発信、若者への訴求力の高いウェブメディアでの情報発信を強化することで、県の認知度向上や三重県ファンを増やすためのプロモーション活動を展開します。
- ④ 県ホームページについて、利用者の皆さんが必要な情報を入手しやすいよう環境を整えるとともに、引き続き改善に取り組めます。あわせて、ウェブアクセシビリティの水準維持やシステムの安定運用及びセキュリティ対策に取り組めます。
- ⑤ 「県民の声」制度を適正に運営するとともに、広聴ツールである「みえ出前トーク」、「e-モニター」を活用した広聴活動の充実に取り組みます。
- ⑥ 迅速かつ正確な統計調査の実施、審査、集計等を行い、調査結果を分かり易く公表するとともに、統計関係者の功績を表彰し意欲を高めていただくことで、統計調査の円滑な実施を図ります。主要経済指標等の最新の統計情報をインターネット(「みえDataBox」)で提供するほか、各種統計資料を適切に作成、刊行するとともに、統計の普及と利活用の推進及び統計調査への理解促進を図ります。
- ⑦ 情報公開・個人情報保護制度の適正な運用、個人情報の漏えいの防止などを図るため、職員研修の充実等に取り組む、職員等の一層の意識の向上を図り、制度を適正に運用します。

主な事業

- ① 県政情報発信事業【基本事業名：40501 効果的な広聴広報機能の推進】
予 算 額：(R2) 110,458千円 → (R3) 110,896千円
事業概要：県民の皆さんが、利用しやすい方法でより確実に情報が入手できるよう、広報紙「県政だより みえ」や定期刊行物（フリーペーパー）等を活用して、県の情報を提供します。
- ② 電波広報事業【基本事業名：40501 効果的な広聴広報機能の推進】
予 算 額：(R2) 59,926千円 → (R3) 59,956千円
事業概要：県政の重要課題や取組、県主催イベント、イメージアップにつながる県の魅力をより多くの視聴者に届けるため、テレビの情報番組で効果的に発信します。また、県政情報や生活情報、安全・安心情報、防災情報などをラジオでタイムリーに発信します。
- ③ 広聴広報アクションプラン推進事業【基本事業名：40502 戦略的なプロモーションの推進】
予 算 額：(R2) 17,064千円 → (R3) 14,717千円
事業概要：三重県が魅力的な地域として認知され、県外の若者等に移住先の候補地として選定されるよう、テレビ、雑誌等のマスメディアに対する取材誘致や、ウェブメディアを活用した情報発信を行います。また、さらなる県の認知度向上・イメージアップに向けて、ソーシャルメディアの活用や県プロモーションサイトの運営を行います。
- ④ インターネット情報提供推進事業【基本事業名：40501 効果的な広聴広報機能の推進】
予 算 額：(R2) 31,033千円 → (R3) 29,242千円
事業概要：県民の皆さんが、必要な情報を確実に入手できるよう、県ウェブサイトや動画を活用して、県の情報を効果的・効率的に提供します。
- ⑤ 広聴体制充実事業【基本事業名：40501 効果的な広聴広報機能の推進】
予 算 額：(R2) 13,352千円 → (R3) 13,505千円
事業概要：県民の皆さんから寄せられる意見から県民ニーズを的確に把握し、県政運営に反映できるように、「みえ出前トーク」等の効果的な運用や職員研修の実施等、全庁的な広聴機能の充実を図ります。
- ⑥ 経済センサスー活動調査費【基本事業名：40503 統計情報の効果的な発信と活用の促進】
予 算 額：(R2) 8,666千円 → (R3) 103,782千円
事業概要：全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにすること等を目的として、県内のすべての事業所及び企業を対象に調査を実施します。
- ⑦ 統計情報編集費【基本事業名：40503 統計情報の効果的な発信と活用の促進】
予 算 額：(R2) 942千円 → (R3) 822千円
事業概要：県民の皆さんや自治体・企業・教育研究機関等が統計情報を利活用できるよう、統計情報を編集し、県統計情報のインターネット上の総合窓口である「みえDataBox」や刊行物で提供します。

⑧ 情報公開・個人情報保護制度運営費

【基本事業名：40504 行政情報の積極的な公開と個人情報の適正な保護】

予算額：(R2) 4, 535千円 → (R3) 4, 628千円

事業概要：職員研修の実施や、職員からの相談等への対応を通じて、情報公開・個人情報保護制度に対するより一層の理解と意識の向上を図り、両制度の適正な運用に努めます。

(4) 令和3年度当初予算要求 新規事業一覧(戦略企画部)

(単位: 千円)

施策番号	一部新規	特定政策課題枠	事業名		事業費
226	※	◇	高等教育機関連携推進事業費	高等教育機関連携推進事業費	37,196
行運5			人口経済統計費	社会生活基本調査費	10,621
戦略企画部 計					47,817

【記号の説明】

「※」…一部新規を含む事業(事業費は新規分のみ)

「◇」…令和3年度特定政策課題枠事業

(5) 令和3年度特定政策課題枠事業一覧(戦略企画部)

(2)人口減少への対応(地方創生の実現)

(単位: 千円)

施策番号	細事業名	事業概要	事業費
226	高等教育機関連携推進事業費(高等教育機関における学びの充実支援事業)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う環境変化をふまえた、県内入学者や県内就職者の増加につなげる県内高等教育機関の取組に対し、財政的に支援します。	30,151
226	高等教育機関連携推進事業費(若者の県内定着に向けた魅力ある学びの選択肢拡大検討事業)	若者が県内で学び、成長できる可能性を広げられるよう、大学進学時における学びの選択肢の拡大に向けて、県立大学設置の是非について検討します。	7,045
戦略企画部 計			37,196

(6) 令和3年度新型コロナウイルス感染症対策枠 事業一覧(戦略企画部)

(単位: 千円)

施策番号	細事業名	事業概要	事業費
行運5	報道等事業費	新型コロナウイルス感染症に関する緊急記者会見における手話通訳を実施します。また、感染情報をはじめとした報道発表資料を提供します。	1,694
戦略企画部 計			1,694